

窓辺をかえる、明日が変わる。

TOSO



株主・投資家のみなさまへ

第80期(2020年3月期)中間期のご報告

2019年4月1日～2019年9月30日

トーソー株式会社

(東証2部 証券コード：5956)

目次 CONTENTS

トップメッセージ	P1	TOPICS	P7
当中間期の		株主優待	P8
セグメント別営業概況	P3	連結財務諸表(要旨)	P9
特集	P5	会社概要／株式情報	P10



当社はこの度、創立70周年を迎えました。長きにわたりご支援ならびにご愛顧を賜り、改めて厚くお礼申し上げます。

当社グループは2019年9月30日をもって第80期（2020年3月期：2019年4月1日から2020年3月31日）の中間期を終了いたしましたので、ここに事業の概況と今後の諸施策につきましてご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 前川 圭二

トップメッセージ

第80期（2020年3月期）中間期の事業

ポイント

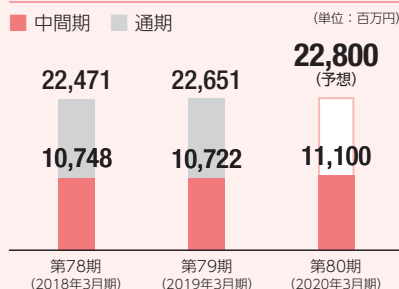
- 経営ビジョン「Vision2025」第1フェーズ（2016～2019年度）最終年度として、成長戦略を推進。
- 原価低減活動や生産性の向上等への取り組みを進め、収益改善に尽力。
- 安定配当の継続を重視する基本方針に従い、前期同様の中間配当を決定。
- 期末配当についても、1株5円を予定。

第80期（2020年3月期）中間期の事業概況

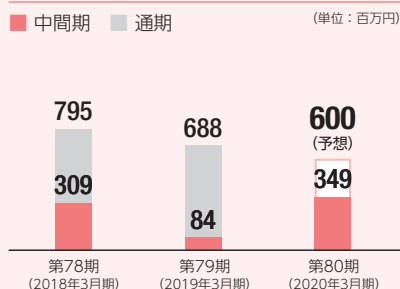
当期におけるわが国経済は、企業収益や雇用所得環境の改善などを背景に引き続き緩やかな回復基調にて推移しておりますが、通商問題をめぐる米中対立の長期化による世界経済の減速懸念の高まりや金融資本市場の変動など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ事業に関連の深い建設市場におきましては、新設住宅着工戸数全体は減少傾向にあるものの、消費増税

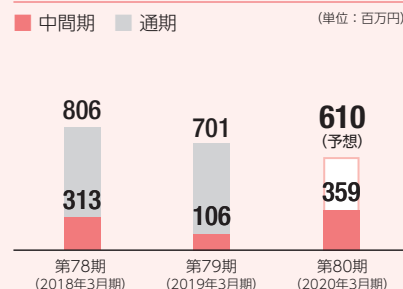
売上高



営業利益



経常利益



概況と今後の展開

前の駆け込み需要等により持家や分譲住宅の着工戸数については前年を上回りました。一方で今後は住宅着工数が漸減する見通しであり、また、非住宅向けの建築着工床面積も依然として減少傾向が続くなど、取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の下で、当社グループは「Vision2025」第1フェーズ（2016～2019年度）最終年度として、引き続き主力の住宅分野の深耕とあわせて、非住宅分野や海外事業、新規領域への営業活動を展開し、成長戦略を推進しました。また、原価低減活動や生産性の向上等への取り組みを進め、収益改善に努めてまいりました。

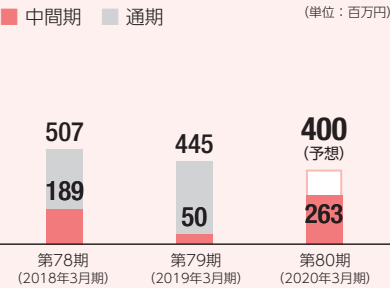
これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,100百万円（前年同期比3.5%増加）、営業利益は349百万円（前年同期比315.0%増加）、経常利益は359百万円（前年同期比237.3%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は263百万円（前年同期比421.5%増加）となりました。

> 第80期（2020年3月期）の見通し

経営ビジョン「Vision2025」の実現に向け、引き続き新製品開発力や市場への対応力の強化に努めてまいります。中長期につきましては、住宅分野の深耕とあわせて需要の拡大が見込まれる宿泊施設等の非住宅領域の取り込みや、アジアを中心とした海外販売の強化、介護関連用品等の新規分野でのビジネス領域拡大などに取り組み、持続的な企業成長を図ってまいります。また、原価低減、総費用低減の徹底を図り、高収益体質への転換と競争力強化に取り組んでまいります。

第80期（2020年3月期）の業績につきましては、売上高22,800百万円、営業利益600百万円、経常利益610百万円、親会社株主に帰属する当期純利益400百万円を見込んでいます。

親会社株主に帰属する四半期純利益



配当方針

当期の配当金につきましては、中間配当5円、期末配当5円、年間で10円といたしました。当社グループでは、「Vision2025」第1フェーズ（2016～2019年度）の最終年度となりました。引き続き中期経営計画の重点施策を着実に推進していくことで、多くの投資家の皆様に魅力を感じていただける企業となるよう努力してまいります。皆様からの一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

■ 1株あたり配当金の推移

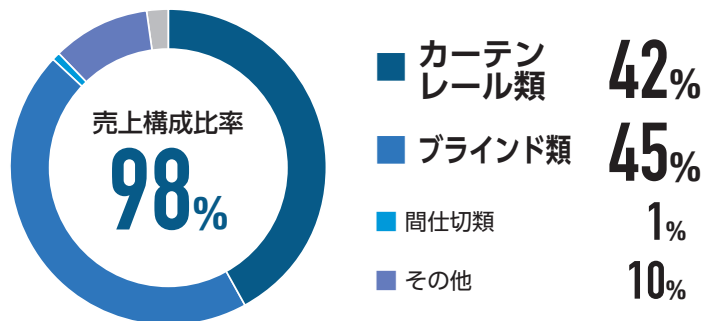
	第79期 (2019年3月期)	第80期 (2020年3月期)
中間配当金	5円	5円
期末配当金	5円	5円(予定)
合計(年間)	10円	10円(予定)



詳細な決算説明を動画で公開しています。是非ご覧ください。

当中間期のセグメント別営業概況

室内装飾関連事業

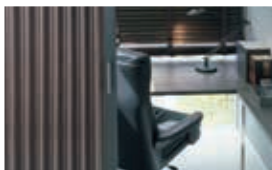


事業内容

国内シェアNo.1のカーテンレールを中心に、ブラインド、ロールスクリーン等の窓装飾品や室内間仕切類などを開発・製造・販売しています。



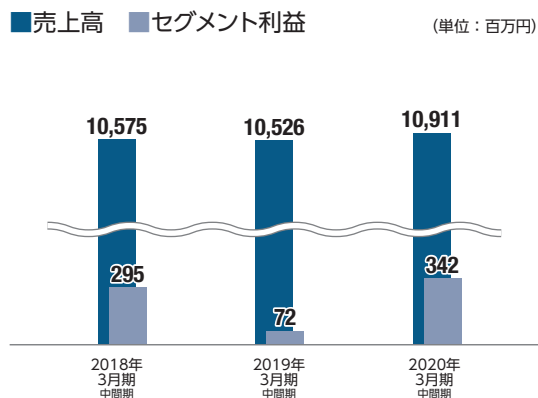
カーテンレール類（装飾性カーテンレール）



間仕切類（アコーデオンドア）



ブラインド類（アルミブラインド）



当期の営業概況

室内装飾関連事業においては、カーテンレール等新製品を中心とした展示会を開催し新製品の早期浸透を目指すとともに、引き続き非住宅市場、海外市場への販売拡大等の営業活動を展開したことで、売上高は

10,911百万円（前年同期比3.7%増加）となりました。セグメント利益については、資材歩留まり改善等の原価低減活動や生産性向上の推進に努め、342百万円（前年同期比369.6%増加）となりました。

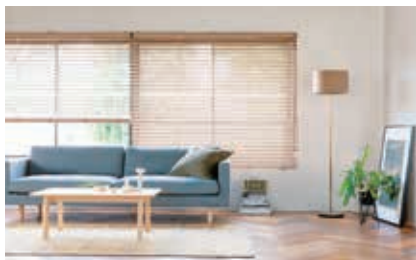
カーテンレール
70年近くにわたり
国内シェア
No.1



新発想の棚板付きカーテンレール
「ヴィンクスシェルフ」
自由にディスプレイを楽しめます。

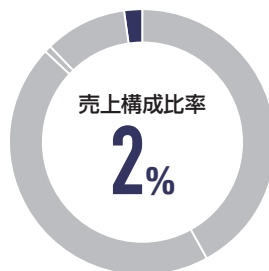


天井に溶け込み大開口を引き立てるカーテンレール
「シエロクラウド」



「窓辺の家具」をコンセプトに作られた
ウッドブラインド「ベネウッド」

その他の事業



事業内容

ステッキを中心とした介護関連用品を開発、販売しております。そのほか、グループの物流事業請負業務をおこなっています。



売上高

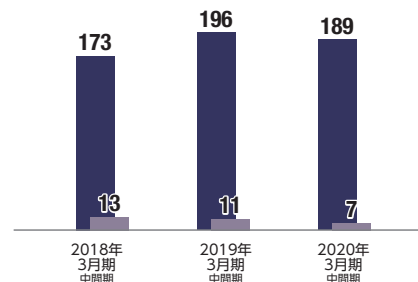
1億89 百万円

セグメント利益

7 百万円

■売上高 ■セグメント利益

(単位：百万円)



当期の営業概況

その他の事業では、ステッキやシルバーカー等の介護関連用品の販売活動を強化し、「国際福祉機器展」への出展や新製品のプロモーション等により営業活動を強化しましたが、販売関連費用の増加等の影響を受けた結果、売上高は189百万円（前年同期比3.2%減少）、セグメント利益は7百万円（前年同期比36.7%減少）となりました。

特集 トーソー創立70周年の歩み

建築金物業からカーテンレール販売へ

時代のニーズに応え、

事業

1949

東京装備工業株式会社創立



1964

つくば工場稼働



1969

「世界のカーテン・カーテンレール展」開催
初の書籍「窓とカーテン」出版



1972

トーソー株式会社に商号変更



1981

ドイツ開催の
ハイムテキスタイル展
初出展

商品

1953

第1号商品
「C型カーテンレール」発売



1969

トーソー初の
装飾レール
「ローレット」発売



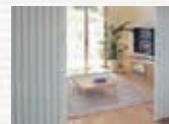
1966

ロングセラー機能性レール
「エリート」発売



1975

アコーデオンドア
を発売し、
間仕切事業に参入



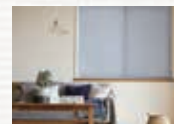
1978

アルミブラインド
発売



1977

ロールスクリーン
発売等、
ブラインド類へと
事業を拡大



おかげさまでトーソー株式会社は2019年9月に創立70周年を迎えました。
株主の皆様をはじめ、ご支援を賜りました皆様へ心より御礼申し上げます。

多角化に取り組む

トーソーグループ構築により、総合インテリア企業へ



1988

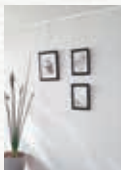
インドネシアに現地法人
P.T.TOSO
INDUSTRY
INDONESIA設立

1996

東証2部上場

1996

「ピクチャーレール」
発売



2000

ISO9001
取得



2002

ISO14001
取得



中国上海に現地法人
東装窗飾（上海）
有限公司設立



2002

ウッドブラインド発売



2007

日本初の調光ロールスクリーン
「ビジック」発売



2009

インドネシアでの
植林開始



2011

介護用品を販売する
フジホーム株式会社を
設立



2019

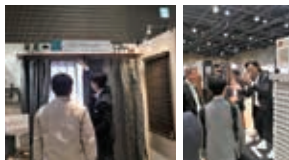


創立70周年

暮らしをもっと快適に、
もっと美しく。
私たちトーソー株式会社は、
これからも心地よい
暮らしの空間づくりを
お手伝いしてまいります。

TOPICS ～第80期(2020年3月期) 中間期の主なトピックス～

新製品展示会 「ウインドウファッションフェア2019」を開催



インテリア業界関係者向けの展示会「ウインドウファッションフェア2019」を全国20都市で開催。この展示会は、製品を実際に見て触れていただき、素材感や操作感などを体感できる機会を増やすことを目的として毎年開催しており、今年で17回目となりました。今年は創立70周年という節目の年を迎えることもあり、「ずっとお客さまとともに」をコンセプトに、ユーザー目線での各製品の使いやすさをアピール。カーテンレールやウッドブラインドなど、インテリア製品との調和を意識して開発された新製品を中心に展示しました。

「日経IR・投資フェア2019」に出展



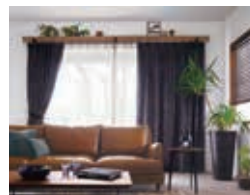
東京ビッグサイトにて開催された個人投資家向けIRイベント「日経IR・投資フェア2019」(主催:日本経済新聞社)に出展しました。当社は展示ブース内で事業内容の紹介や当社の強み、経営ビジョン「Vision2025」、中期経営計画進捗状況等の説明をおこないました。今後も当社の企業価値向上に向けた有意義な情報を発信できるようにIR活動をおこなってまいります。

「国際福祉機器展2019」へ出展



東京ビッグサイトにて開催された介護・福祉・医療関連のメーカー及び卸店が一堂に集結する「国際福祉機器展2019」に当社グループ企業のフジホームが出展しました。今年は、ステッキ等の歩行介護支援用品を中心に、新製品や参考出品を含めた豊富なラインナップを多数展示しました。今後もステッキで市場No.1を目指して積極的な事業展開を図ってまいります。

2019年6月17日より カーテンレール新製品を全国で発売開始



創立70周年を迎える当社は、従来の枠にとらわれない、新たなカーテンレールの開発に力を注ぎました。幅広いインテリアテイストに調和するヴィンクスシリーズは、近年増加している大開口に対応したカーテンレール。新発想の「棚板付きカーテンレール」ヴィンクスシェルフはレールの上のデッドスペースを有効活用し、ディスプレイも楽しめます。他にも、大開口・高天井におすすめのシエロシリーズ等を発売。これからも当社は、皆様の暮らしを豊かにするため、新しい提案を続けてまいります。

株主優待制度のご案内

▶▶ 株主優待制度の内容を、一部変更させていただきました。

当社は、株主の皆様からの日頃のご支援にお応えするとともに、当社株主への投資魅力を高めることなどを目的に株主優待制度を導入しております。このたび、より当社株式への投資の魅力を高めるため総合的に検討を重ねた結果、下記のとおり、内容を一部変更させていただくこととしました。

2020年3月31日を基準とする株主優待制度内容

保有株式数	継続保有期間※	株主優待内容
100株以上 300株未満	1年未満	なし
	1年以上	図書カード1,000円贈呈
300株以上 500株未満	1年未満	なし
	1年以上 3年未満	優待商品（1,500円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
	3年以上	優待商品（2,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
500株以上 1,000株未満	1年未満	なし
	1年以上 3年未満	優待商品（2,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
	3年以上	優待商品（3,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
1,000株以上	1年未満	なし
	1年以上 3年未満	優待商品（3,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
	3年以上	優待商品（4,500円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付

・図書カード1,000円



・3,000円相当の優待品



※継続保有期間とは、同じ株主番号で株主名簿基準日（毎年3月31日及び9月30日）の株主名簿に、1単元（100株）以上の保有を下記のとおり、連続で記載されていることをいいます。
 1年未満：直近株主名簿に記載が2回以下
 1年以上3年未満：直近株主名簿に連続3回以上6回記載
 3年以上：直近株主名簿に連続7回以上記載
 「1年以上3年未満」の初回継続保有期間の起算日は2019年3月末、「3年以上」の初回継続保有期間の起算日は2017年3月末とします。



インドネシア共和国における植林活動

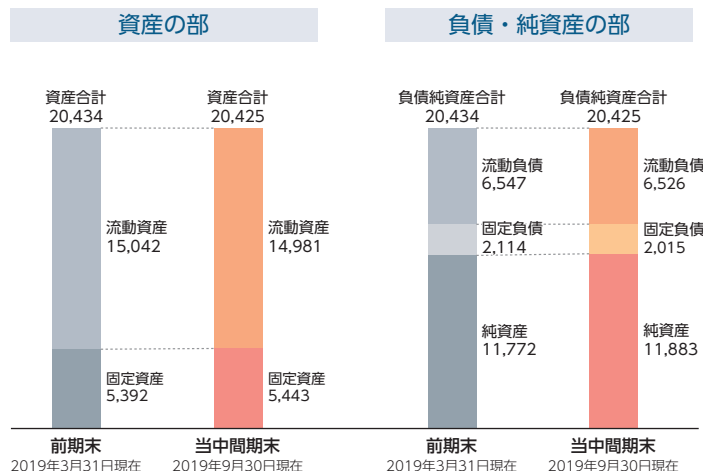
累計本数 **11,800本**（2019年3月末日現在）

第71期（2011年3月期）より、株主優待制度に当社子会社の所在地であるインドネシア共和国における「植林活動への寄付」を設けております。ご協力いただきました皆様には、厚く御礼申し上げます。株主優待制度にお申込みいただかなかった

方々の優待相当額と合わせて、当期は378,000円を寄付させていただきます。2019年度は、これまで植林した樹木のメンテナンスを重点的に実施する予定であり、実施報告につきまして「第80期（2020年3月期）のご報告」にてお知らせいたします。

連結財務諸表 (要旨)

▶ 中間連結貸借対照表 (単位：百万円)



POINT 1 資産の部 変動要因

資産合計は前期末と比較して9百万円減少し、20,425百万円となりました。

●流動資産は61百万円減少しました。

要因

現金の増加
売上債権の減少

●固定資産は51百万円増加しました。

要因

無形固定資産、投資有価証券等が減少
流動比率は229.6%と高水準を維持しています。

POINT 2 負債・純資産の部 変動要因

負債合計は前期末と比較して9百万円減少し、20,425百万円となりました。

要因

役員退職慰労金、未払金等が減少

純資産合計は前期末と比較して111百万円増加し、11,883百万円となりました。

要因

利益剰余金が増加
自己資本比率は、57.9%となり、健全な財務体質を維持しています。

POINT 3 営業利益 変動要因

営業利益は前年同期比315%増の349百万円となりました。

要因

原価低減や生産性向上の推進により増加

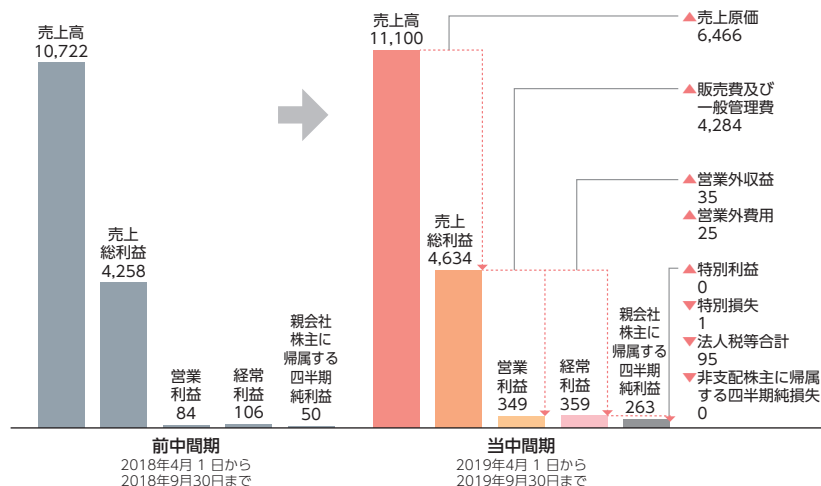
POINT 4 親会社株主に帰属する四半期純利益 変動要因

親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比421.5%増の263百万円となりました。

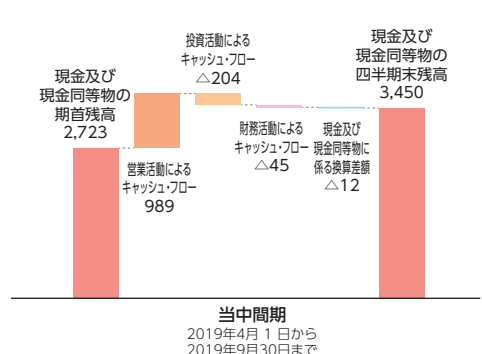
要因

前期に固定資産売却損の特別損失の計上あり

▶ 中間連結損益計算書 (単位：百万円)



▶ 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)



詳細な情報は
こちら

TOSO IR資料

検索

会社概要 (2019年9月30日現在)

株式情報 (2019年9月30日現在)

会 社 名 トーソー株式会社
英 文 社 名 TOSO CO.,LTD.
本 社 所 在 地 〒104-0033
 東京都中央区新川一丁目4番9号
電 話 03(3552)1211(代)
設 立 1949年9月
資 本 金 11億7,000万円
主 な 事 業 内 容 インテリア製品の開発、製造、販売
 国土交通大臣許可内装仕上工事業(般-28)第16989号
 ISO9001認証取得:JQA-QM5920製造本部/商品開発本部/品質保証部
 ISO14001認証取得:JQA-EM2416つくば事業場/水海道事業場

従 業 員 数

連結952名 単体577名

【 役 員 】

《 取締役 》
 代表取締役社長 前 川 圭 二 (マエカワ ケイジ)
 専務取締役 結 束 正 (ケツソク タダシ)
 取締役 八重島 真 人 (ヤエシマ マコト)
 取締役(監査等委員) 森 兼 康 博 (モリカネ ヤスヒロ)
 社外取締役(監査等委員) 久 保 英 幸 (クボ ヒデユキ)
 社外取締役(監査等委員) 江 角 英 樹 (エスミ ヒデキ)

《 執行役員 》

上席執行役員 渡 辺 文 生 (ワタナベ フミオ)
 上席執行役員 栗 山 忠 久 (クリヤマ タダヒサ)
 上席執行役員 林 淳 之 (ハヤシ アツユキ)
 執行役員 本 多 敏 光 (ホンダ トシミツ)
 執行役員 堀 住 浩 一 (ホリズミ ヒロイチ)
 執行役員 伊 藤 健 一 (イトウ ケンイチ)

【 事業拠点一覧 】

営業拠点	札幌支店、仙台支店、さいたま支店、東京支店、横浜支店、名古屋支店、大阪支店、広島支店、福岡支店 営業所14カ所
国内工場	つくば工場(茨城県)、水海道工場(茨城県)、兵庫工場(兵庫県)
物流拠点	流通センター(茨城県)、流通センター(兵庫県)、札幌配送センター、福岡配送センター
ショールーム	トーソープラザ(東京ショールーム、大阪ショールーム)
連結子会社	サイレントグリス株式会社 トーソーサービス株式会社 フジホーム株式会社 トーソー流通サービス株式会社 P.T.トーソー・インダストリー・インドネシア 東装窗飾(上海)有限公司

発行可能株式総数 30,000,000株
発行済株式の総数 10,000,000株
株主数 10,761名

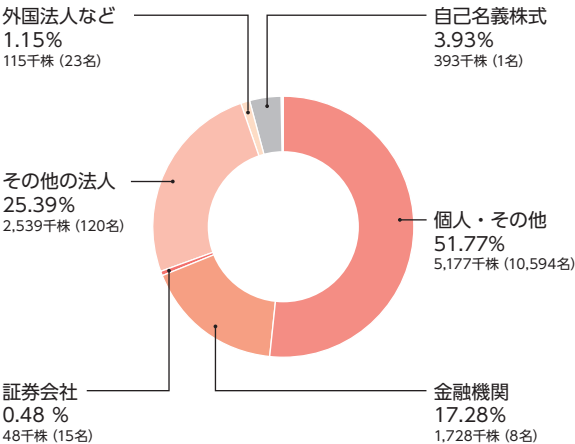
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
大槻 保人	729	7.59
トーソー取引先持株会	474	4.93
株式会社みずほ銀行	458	4.77
トーソー社員持株会	418	4.36
十和運送株式会社	414	4.31
株式会社三菱UFJ銀行	338	3.52
第一生命保険株式会社	222	2.31
株式会社きらぼし銀行	216	2.25
株式会社常陽銀行	215	2.23
みずほ信託銀行株式会社	200	2.08

(注1) 持株数は千株未満を、持株比率は小数点第2位未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。

(注2) 当社は自己株式393千株を保有しております。

所有者別分布状況(株式数)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで		
定時株主総会	毎年6月下旬		
基準日	定時株主総会・期末配当	毎年3月31日	
	中間配当	毎年9月30日	

単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所市場第二部
公告方法	電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する。

ホームページ
アドレス <https://www.toso.co.jp>

株主名簿
管理人 みずほ信託銀行株式会社
東京都中央区八重洲一丁目2番1号

同連絡先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-288-324（フリーダイヤル）

取次事務はみずほ信託銀行株式会社（トラストラウンジを除く）、株式会社みずほ銀行、みずほ証券株式会社（カスタマープラザを除く）の各本店でおこなっています。

特別口座の
口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

同連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-782-031（フリーダイヤル）

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しています「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告をおこなう際には、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にておこなわれます。確定申告をおこなう際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいています。確定申告をされる株主様は大切に保管してください。

表紙写真について

当社製品「シエロライン」（カーテンレール）の事例写真です。新シリーズ「シエロ」は、まるでカーテンレールが存在しないかのような、天井付専用のカーテンレール。カーテンレールの存在感をあえて消した究極のシンプルデザインで、空間に溶け込み、解放感あふれる窓辺を演出します。表裏がないシンメトリーなデザインは、窓だけでなく間仕切としてもお使いいただけます。写真のカーテンはウエーブスタイル。天井から床まで美しいウエーブで、大開口をより一層引き立てます。

商品情報
はコチラ



トソー株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目4番9号
<https://www.toso.co.jp> 証券コード：5956

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。